

神奈川県立茅ヶ崎養護学校だより



平成 30 年度 No. 3
(通算 63 号)

題字 B 高 2 年
山口ひより

平成 30 年 9 月 7 日
発行

茅ヶ崎養護学校の「もの」「こと」「ひと」を次につなごう

(2 学期始業式校長講話より)

校長 鈴木 裕子

茅ヶ崎養護学校は、今年度開校 20 年目を迎えました

○養護学校空白地域の解消を目的に

○平成 11 年(1999 年)

○県立の養護学校としては 18 年ぶりに開設された学校です。

それまで遠くまで長時間かけて通っていた茅ヶ崎/寒川地域の人たちが待ち望んでいた学校として誕生しました。

今、在校生の皆さんには、20 年の歴史/500 人を超える高等部卒業生の思いを受け継ぎ茅ヶ崎養護学校の「もの」「こと」「ひと」を大切に次につなげていってほしいと思います。



「もの」 建物・教室/トイレ/その他の場所・設備・教材・・・

4S 「整理」「整頓」「清潔」「清掃」、ていねいに使いましょう。

「こと」 授業・実習・行事・部活動/同好会活動・そのほかの取り組み・・・

毎日を大切に、楽しんで、自分にできることは一生懸命に。

「ひと」 自分・友達・後輩・先輩/他学部の人・職員・私たちを支えてくださる人たち

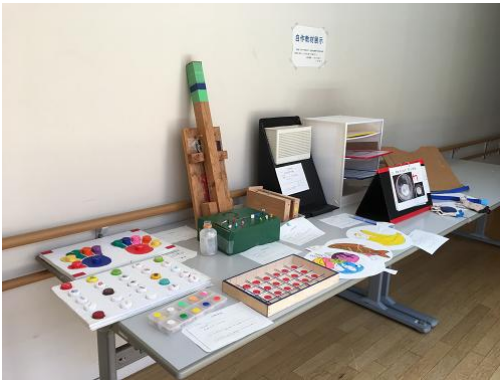
自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを尊重する、まず「あいさつ」。

11 月 22 日(木)/23 日(金・祝)は、開校 20 周年記念 第 20 回きらめき祭です。皆さんの発表の中に是非、学校の開校 20 年を意識した取り組みをいれてくださるとうれしいです。「笑顔にじいろ(20)きらめき祭」：皆で学校の 20 歳の誕生日を祝いましょう。





夏季休業中、校内で行われた事業・研修の中らごく一部スナップを紹介します。



← 自作教材展示会

○ iPad研修会、ソーシャルメディア研修会、陶芸教室、自作スイッチ製作研修会などにも取り組みました。

↓ アニマルセラピー体験研修会

(アニマルセラピーこころサポート協会)

○ 2学期に体験を予定している学部もあります。



← 医療ケア認定担当教員養成講座

経管栄養の手技を看護師から学んでいる場面



＜外部の方と一緒に実施するもの＞

○防災シミュレーション

＜全職員対象で実施するもの＞

○人権研修（虐待について）

○不祥事防止研修（職場のコミュニケーション）

○摂食研修 ○心肺蘇生法（AED）研修

○進路先見学会などにも取り組みました。

○夏季公開研修会（「東日本大震災経験者から学ぶ、災害時における障害者の困難と今後の防災について」）では、講師の一人（「自立生活センター 自立の魂 略して じりたま」小野和佳さん）からの「大規模災害が発生した時に、必ずプロの支援者がすぐそばにいるとは限らない」という趣旨の話がもっとも印象的でした。災害時に、支援を必要としている人を地域で守るためには、普段の近所づきあい・地域活動への参加（「ともに生きる社会」の実現）が必須であり、そのために私たち学校が果たすべき役割があることを改めて強く感じる研修会でした。